

アコマアネロイド式血圧計

【禁忌・禁止】

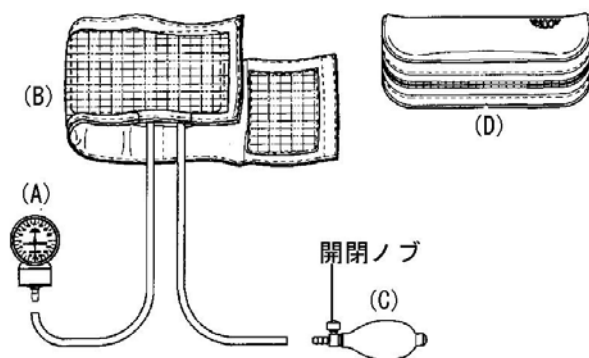
適用対象

- (1) 過去にアナフィラキシー症状様の経験がある医療関係者及び患者への使用は禁止すること。
- (2) 合併症が懸念される部位では測定しないこと。

使用方法

- (1) 水のかかる場所では使用しないこと。
- (2) 300 mmHg 以上に加圧しないこと。

**【形状・構造及び原理等】



■マジックカフ規格表 (オプション)

	マジックカフ寸法	適用例
No. 1	40×150 mm	未熟児用
No. 2	45×230 mm	新生児-3 か月児用
No. 3	65×300 mm	3 か月児-3 歳児用
No. 4	85×325 mm	3 歳児-6 歳児用
No. 5	105×405 mm	6 歳児-9 歳児用
No. 6	140×480 mm	成人用
No. 7	140×595 mm	成人用ロングサイズ
No. 8	210×800 mm	大腿用

寸法

本体外形寸法：52(幅)×35(奥行き)×88(高さ) mm

構造・構成ユニット

血圧計本体 (A)、マジックカフ (B)、送気球 (C)、ケース (D) から構成されている。

仕様

JIS T4203-1990 1 種 アネロイド形指示血圧計

測定範囲：0-300 mmHg

許容誤差：±4 mmHg

作動・動作原理

送気球を用いてマジックカフ内のゴム袋に大気を送り込み、測定部位の動脈を圧迫する。ゴム袋内圧をアネロイド血圧計が表示する。表示された内圧を、圧迫された動脈血圧に置き換えて血圧を測定する。

**【使用目的又は効果】

使用目的

腕周に巻き付ける加圧可能のカフ、カフ内の空気圧を調整する弁、アネロイド式圧力計から構成される機器をいう。(一般的名称の定義)

**【使用方法等】

1. 使用前の準備

- (1) 患者の体格・測定部位に適したマジックカフを選択する。
- (2) (マジックカフ規格表を参照)

- (3) マジックカフのゴムチューブの一方に血圧計本体を、もう一方のゴムチューブに送気球を接続する。

2. 動作確認

始業点検を実施する。

- (1) マジックカフを瓶などに巻き付け、マジックバンドを固定する。
- (2) 送気球の開閉ノブを時計方向に回して閉じる。
- (3) 送気球を握る・緩めるの動作を繰り返して、150 mmHg になるまで加圧する。
- (4) 上記 (3) の状態で 10-15 秒間観察し、血圧計の指針が著しく低下しないことを確かめる。
- (5) 送気球の開閉ノブを反時計方向へゆっくりと回し、指針がなめらかに下降することを確かめる。
- (6) マジックカフを押して中の空気を抜き、指針が 0 点マークの範囲内に戻ることを確認する。

3. 使用方法

- (1) 空気を抜いたマジックカフを次のようにして測定部位に巻き付け、マジックバンドを重ね合わせて固定する。
 - 1) マジックカフのマジックバンドが付いていない面を測定部位に当てる。
 - 2) マジックカフの中のゴム袋中央が、動脈部に位置するように巻き付ける。
 - 3) “ACOMA” マークが上を向くようにする。
 - 4) 測定部位とマジックカフの間に指 1-2 本が入る程度に締める。
 - 5) 測定部位が上腕部の場合は、腕を心臓の高さで伸展させ手掌を上に向けた状態で、肘関節窩の上 2.5 cm 位に巻き付ける。
- (2) アネロイド血圧計本体を見やすい位置に置く。
- (3) 聴診法により血圧を測定する。
 - 1) 聴診器 (オプション) を、動脈の拍動がもっとも強く感じられる部位に当て、保持する。
 - 2) 開閉ノブを時計方向に回して閉じておき、予測した血圧よりも 10 mmHg 以上高めになるまで、マジックカフに空気を送る。
 - 3) 血圧計の指針と聴診器の音に細心の注意を払いながら、開閉ノブを反時計方向にゆっくりと回し、毎秒 5 mmHg 以内位の速度でマジックカフから空気を抜いてゆく。
 - 4) 指針の下降中に初めての拍動音 (コロコフ音) が聴こえたら、この数値を収縮期圧 (最高血圧) とする。
 - 5) 拍動音が聴こえなくなったら、この数値を拡張期圧 (最低血圧) とする。
- (4) 使用環境条件
 - ・ 周囲温度：10-40℃
 - ・ 相対湿度：30-80%

4. 使用後の取り扱い

測定が終了したら、マジックカフ内の空気を抜き、患者からマジックカフを外す。

【使用上の注意】

使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)

- (1) 天然ゴムは、かゆみ、発赤、じんましん、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
- (2) 天然ゴムと接触する機会の多い方々は天然ゴムアレルギー発症のハイリスクグループと考えられるため、使用に関しては注意すること。

使用方法

- (1) 測定値は、指針を正面から見た状態の目盛りを読むこと。
- (2) 使用中に不具合が発生した場合や、安全が確保できない場合は使用を中止すること。

- (3) 落としたり、ぶつけたりした場合は【保守点検に係る事項】の簡易的な精度チェックを実施し、異常があればメーカーによる修理を受けること。
- (4) 使用前には必ず始業点検をすること。
- (5) 患者のコンディション及び周囲の環境に配慮すること。
- (6) 衣服が測定部位付近を圧迫しないようにすること。
- (7) 各接続部は確実に接続して、漏れがないことを確認すること。
- (8) 長時間使用しないときは、各接続を外しておくこと。

****【保管方法及び有効期間等】**

保管方法

保管

- (1) 水のかからない場所に保管する。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する。
- (3) 傾斜、振動、衝撃などのない、安定した場所に保管する。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない。
- (5) 送気球の開閉ノブを緩めて、マジックカフの中の空気をすべて抜いた状態で保管する。
- (6) マジックカフのマジックバンド部分がすべて隠れるように包み、保管する。
- (7) 付属のケースに入れて保管する。

環境条件

- (1) 周囲温度：10-40℃
- (2) 相対湿度：30-80%（結露なし）

耐用期間

10 年〔自己認証（当社データ）による〕（正規の定期点検を実施した場合）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

清掃／洗浄

本体及び付属品は、常に清潔に保つこと。

- (1) 本体、マジックカフ内のゴム袋、送気球、ケースは乾いた布で拭き、汚れを落とす。
- (2) マジックカフは、ゴム袋を取り出し、マジックバンド部分を布の中にくるみ込んだ状態にして洗濯洗剤で洗い、よく濯いだ後に陰干しする。

日常の点検

- (1) 適宜、簡易的な精度チェックをする。
 - 1) 精度が確認されている水銀血圧計、Y型コネクター、ゴムチューブを用意する。
 - 2) Y型コネクターに、基準とする水銀血圧計のゴムチューブと測定を受けるアネロイド血圧計のゴムチューブを継ぎ、さらにマジックカフのゴムチューブを接続する。
 - 3) マジックカフのもう一方のゴムチューブに送気球を接続する。
 - 4) マジックカフを折りたたんで、ゴムバンドなどで押さえる。
 - 5) 基準とする水銀血圧計を測定できる状態にする。
 - 6) 送気球の開閉ノブを閉じる。
 - 7) 基準とする水銀血圧計の水銀柱を見ながら、送気球をゆっくりと加圧してゆく。
 - 8) 任意の測定点で加圧を止め、アネロイド血圧計の指針と比較する。
 - 9) 測定が終了したら、送気球の開閉ノブを反時計方向に止まるまで回して空気を抜いてから、各接続を外す。
- (2) 以下のような場合は、メーカーによる修理を受ける。
 - ・測定誤差が大きい。
 - ・測定値が異常に高い、あるいは異常に低い。
 - ・無加圧の状態でも指針が0点に戻らない。
 - ・加圧しても指針が動かない、あるいは動きが鈍い。

業者による保守点検事項

定期点検

2 年ごとに、メーカーによる定期点検を受けること。

アフターサービス

- (1) 修理の際は購入した販売店、もしくはアコマ医科工業株式会社に連絡する。
- (2) 連絡の際は下記の事項を伝える。
 - 1) 販売名：アコマアネロイド式血圧計
 - 2) 製造番号：本体に記載
 - 3) 故障内容
 - 4) 購入年月日
 - 5) 病院名、科名、担当者及び電話番号

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者及び製造業者の名称

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時も同様）

<https://www.acoma.com>